



令和7年5月1日

第170号

議会だより

令和7年度一般会計及び特別会計予算可決
温泉周辺整備事業（キャンプ場）予算可決

長年、子ども達のために交通安全指導の

街頭啓発をしていただきありがとうございます

第1回定例会は3月5日に開会し、令和7年度町政執行方針、教育行政執行方針が演説されました。その後、令和6年度各会計補正予算など28議案を審議し、いずれも原案のとおり可決。また、令和7年度各会計予算と関連条例など13議案を予算審査特別委員会に審査付託しました。

2日目は5名の議員が一般質問を行いました。

最終日の12日は、令和7年度各会計予算、条例制定などを審議し、いずれも原案のとおり可決・採択し閉会しました。



令和6年度補正予算

○一般会計補正予算(第11号)

歳入では、普通交付税、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、寄附金の追加並びに事務事業の精査です。

歳出では、減債基金積立金、障がい者自立支援給付費、保育施設等給付費の追加、農業経営高度化促進事業費、下水道事業会計繰出金の減額です。

◆補正額 1億2,558万8千円減額

《質疑》

議員 あつたか灯油支給申請で、窓口で申請したが該当にならないかった方は納得されたのか、該当しない方へ通知された場合に、その方も申請にいられたのか。

保健福祉課長 申請にあたり、課税状況等を調べなければ該当の有無はわからないと説明しています。

結果として、該当にならないこともありますが、その場合も申請にいられています。

○国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

歳入では、道支出金、一般会計繰入金の追加です。

歳出では、過年度保険給付費等償還金、直診施設勘定繰出金の追加です。

◆補正額 163万2千円追加

○介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入では、介護保険料、国庫支出金、道支出金、支払基金交付金、並びに一般会計繰入金の追加です。

歳出では、介護保険事務システム改修費の追加、地域支援事業費、基金積立金の減額です。

◆補正額 3,299万9千円追加

○後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入では、後期高齢者医療保険料、繰越金の追加、一般会計繰入金の減額です。

歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金の追加です。

◆補正額 374万円追加

○下水道事業会計補正予算(第3号)

下水道事業収益、一般会計繰入

金、事務事業費等の精査です。

◆補正額

・収益的収入

768万7千円減額

・収益的支出

980万2千円減額

・資本的収入

2億4千923万8千円追加

・資本的支出

2億5千306万5千円追加

○病院事業会計補正予算(第3号)

医療外収益、並びに事務事業費等の精査です。

◆補正額

・収益的収入

205万5千円追加

・収益的支出

320万円減額

条例制定等

・南幌町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例(改正)

・職員等の旅費に関する条例(改正)

・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(改正)

・常勤特別職の職員の給与等に関する条例(改正)

・職員の給与に関する条例等(改正)

・職員の寒冷地手当に関する条例等（改正）

・南幌町高等学校等通学費補助に関する条例（改正）

・南幌町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例（改正）

・公益法人等への職員の派遣等に関する条例（改正）

・南幌町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例等（改正）

・職員の育児休業等に関する条例（改正）

・南幌町議会個人情報保護条例（改正）

人事案件

○監査委員の選任

白倉 敏美さん（7区）

○公平委員会委員の選任

渡邊 修一さん（15区）

川村 英俊さん（15区）

高松 佳子さん（15区）

その他

○町道路線の変更

南幌築堤工事及び旧夕張川右岸築堤工事に伴い、道路敷地の一部が河川用地として必要となるため。

○南空知葬斎組合規約の変更

組合事務所の移転に伴い、構成団体との協議が必要なため。

○岩見沢市と南幌町における定住自立圏の形成に関する協定の締結

定住自立圏の形成に関して、岩見沢市と協定を締結するため。

意見書

○食料安全保障の強化に向けた次期基本計画及び酪肉近の改訂を求める意見書

◆提出者 石川 康弘議員

※酪肉近とは

酪農・畜産の中長期的な指針となる酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針の略称です。

臨時会

第1回 3月18日

第1回臨時会は、補正予算1件が提案され、原案のとおり可決しました。

令和6年度補正予算

○一般会計補正予算（第12号）

歳入では、国庫支出金、基金繰入金並びに地方債の追加です。歳出では、温泉周辺整備事業費の追加です。

◆補正額

3億8,400万円追加

《質疑》

議員 キャンプ場に係る事業経費や運営経費は、補正額に含まれるのか。償還は何年を計画しているのか。

副町長 事業経費や運営経費は補正予算には含まれていません。事業費の半分が国の交付金、残りが地方債となっており、その地方債の償還は20年を予定しています。

《質疑》

議員 交流人口の増加が第一の目的なのか。内容の見直しやキャンプ場を利用された方が町の特産品を購入して、町に経済効果をもたらす仕組みを充実させるため、直売所整備の検討はしないのか。

町長 南幌温泉の付加価値を高め、道央圏連絡道路の開通もあり、観光客を増加させたいということです。整備内容は、運用までに1年あるので柔軟に対応したいと考えます。

直売所は、町の運営ではなく整備が難しいため、他の施設に足を運んでいただくような周遊事業の実施を考えています。

町政を知る良い機会
議会を傍聴しませんか！
第2回定例会は
6月開催です

令和6年度補正予算（第12号）

温泉周辺整備事業

（キャンプ場）に対する討論

《反対討論》

湯本議員

私は、この事業に対する町民の理解についてまだまだ了解を得ているということにはなっていないと思います。

町の事業は、受益者である町民に還元される事業と一般企業という利益を求める事業があると思います。キャンプ場の整備事業は後者であると思います。その、事業として成り立っているのかということが趣旨であると思います。

町の実質負担が9,800万円で、計画5年間の収益は70万円となっており、何年経ってもこの投資が回収されず、計画として成り立っていないと思います。これは町民に対して将来的にも大きな負担になるので中止すべきだということを訴え反対討論にします。

《賛成討論》

石川議員

本事業は、内閣府の新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用するもので、その必要性が認められ採択されました。

南幌温泉の周辺整備事業は、第6期総合計画後期基本計画や都市計画マスタープランに記載され、南幌温泉と一体となった周辺整備について議会で検討を重ねてきました。

令和6年度一般会計補正予算にキャンプ場整備実施設計予算が計上された時も全会一致で可決した経緯があることから、本補正予算に賛成するものです。

議会の動き

全員協議会

1月29日

- 町立病院の経営状況
- 南幌町創生総合戦略
- 南幌温泉周辺におけるキャンプ場の整備
- 南幌町地域福祉計画
- 子ども子育て支援事業計画第3期

○令和7年度新規事業

2月19日

- 町立病院医師体制
- 幼保連携認定子ども園の整備
- 夕張太西住環境整備事業
- 路線バスの運行
- 南空知定住自立圏共生ビジョン
- 特別職報酬額の改定
- 財政推計

委員会活動

主な協議事項を掲載しています。

◆総務常任委員会

2月4日

- ICT支援員との懇談
- 2月14日

○保健福祉課所管計画に係る協議

3月11日

○中間報告

◆産業経済常任委員会

1月10日

○議会報告懇談会及びしやべり場での意見対応

2月13日

○中間報告

3月6日

○中間報告

◆議会運営委員会

1月22日

○評価提言者会議

2月5日

○第3回議員としやべり場

3月17日

○評価提言者会議における意見集約

○中間報告

◆まちづくり特別委員会

1月30日

○委員会条例改正に伴う委員改選スケジュール

2月20日、3月24日

○議会ハラスメント防止条例

○議会マニフェスト

議会報告懇談会を開催！

2月24日（月祝）14時から保健福祉総合センターあいくるで議会報告懇談会を開催し、会場には12名の方にお越しいただきました。議会議員から委員会の活動報告を行った後、参加者の皆さんと懇談し、幅広い質疑が行われました。

主なご意見については次のとおりです。



- ① ゴミ袋の赤袋（5枚入り）は10枚にならないか。
- ② ゴミ収集場所に2年以上も放置されているゴミがかなりあり、町として点検してほしい。
- ③ はればば休憩場所にある絵本棚が販売品になっている。無料で見られる本を置いてほしい。
- ④ 西町公園の遊具がサビている。手入れが必要と思う。他の公園では地域へ事前に説明が無く遊具が撤去されているところもある。
- ⑤ きらら街道に街灯が少ないのでつけてほしい。
- ⑥ あいる一との運行は、駅から駅につなぐルートがほしい。
- ⑦ あいる一とは札幌市の敬老パスのような取組はしないのか。免許も返納して温泉まで往復600円は高い。高齢者は200円で利用できるなど、高齢者へ配慮した料金の検討は。

【議会活動分】

- Q 議会報告懇談会の申込要件5人以上はどのような理由か。
- A 目安であって、5人以下でも受付します。議会事務局まで申込みください。
- Q 議会報告懇談会の参加者が少ないことへの今後の対応は。
- A 議会ホームページや案内チラシ、議会だよりなどで早めの周知に努めます。
- Q 行政区や町内会で議会報告懇談会を実施してほしい。
- A 開催に向けて検討します。

～所感～

米・野菜の異常な価格高騰が生活を直撃しています。南幌町の特産品は米・野菜で、周りを田畑に囲まれていても、今の物価高騰には苦しまれます。懇談会では、公共交通の問題や地域特性を生かしたまちづくりへの思いがありました。

魅力あるまちづくりの思いを形に、町民の皆さんと共に一步一步実現しましょう。

（湯本）

賛否の公表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の賛否を公表します。（議長は採決に加わっていません。）

議 件 名	湯本	西股	星	熊木	佐藤	細川	加藤	石川	高橋	家塚	側瀬
令和7年第1回定例会 令和6年度一般会計補正予算（第12号） 採決結果～賛成多数で可決 賛否は右のとおりです。	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—

※掲載されていない議案はすべて議長を除く10名の議員が賛成しました。

3月定例会

一般質問に5人が登壇

議員本人が要約して掲載しています



いえづか まさひと 議員
家塚 雅人

家塚議員

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを受け、主権者教育の重要性が急激に高まっています。政治の仕組みを学ぶだけではなく、社会への参加意識を高めていくことも必要と考えます。

議会マニフェストでは、「開かれた議会をめざして」を目標にその重点項目のひとつに主権者教育の推進があります。児童・生徒に議会を身近に感じてもらおう具体的な取り組みとして、議会による出前講座及び子ども議会の開催を予定していますが、教育長の考えは。

教育長

知識だけではなく、日常的に他者と関わり、様々な機会を通じて課題を主体的に解決していく力を育てることが必要であることから、家庭や地域、関係機関と連携・協力し進めていきます。

主権者教育は、現代的な



録画映像

←左のQRコードを読み取ることで議会録画サイト（YouTube）に繋がります。



諸課題に対応して求められる資質能力を育成する学習の一つと考え、次の四つの観点から学習活動を進めることが重要となっています。

- ①児童生徒が社会で起きている事柄に興味・関心を持つこと。
- ②児童生徒が社会で起きている事柄に実感を持って思考を働かせること。
- ③児童生徒が社会の形成に参画する基礎を培うこと。
- ④児童生徒にとつての社会である学校生活の充実と向上に主体的に参画すること。

子ども議会も、この観点から大切な学びにつながるものであると考えます。

Q 中学校の制服購入費用について

A 購入費用に対する支援策は今のところ考えていません



たかはし しゅうへい 議員
高橋 修平

就学支援が必要な家庭には、生活保護制度、就学援助制度で制服購入費用の一部を助成しています。

町では、子育て世代全体の支援を考えて、購入費用に対する支援策は今のところ考えていません。

不要となった制服を廃棄せずに有効活用するというリユースを推奨することは意義ある取組と考えています。

今後は保護者間でのリユースの輪が保護者の主体的活動の中で意識が高まり自主的に広がれば効果的な取組になると考えます。

教育長

学校における制服の選定や見直しについては最終的には校長の権限において適切に判断すべき事柄と示されています。



録画映像

Q 今後の防災訓練について



録画映像

A 安全安心に暮らせるまちづくりを進めていきます



くまきけいこ
熊木恵子 議員

熊木議員

安全安心に暮らすためには防災対策が大変重要と考えます。2月8日に初めて冬の防災訓練が行われました。南幌町地域防災計画に沿った今後の訓練のあり方について5点伺う。

①町防災会議は定期的に開催されているか。

②女性の視点が生かされる体制が作られているか。

③防災訓練に参加された方からの意見・感想はどのようなものであったか。

④以前、災害図上訓練DIGを実施し好評であったが、再度実施する考えは。

⑤自主防災組織が2町内会でつくられているが全町に広げる取組は。また、今後、被災を体験された方の講演を取り入れる考えは。

町長

①防災会議は、地域防災計画の策定などが必要な際に、町の諮問に応じて開催することとしています。

②防災対策を進める上で、女性目線の取組が重要であることから、女性を登用していきます。

③防災訓練に参加された方から「電気を使用しないス



防災訓練の様子

トープの必要性を考えては」「自宅での防災を今一度考える機会となった」との意見、感想がありました。今後の訓練の実施内容や、災害備蓄品整備の参考にしたいと考えています。

④令和7年度の防災訓練では、町民参加型の避難所運営訓練ゲームHUGを実施する予定です。DIG及びHUGについては、職員出前講座の防災対策としてメニュー化します。

⑤自主防災組織は、全町的に設置が進むよう啓発していきます。

今年度に防災訓練を実施する計画ですが、体験された方の講演も含め検討します。

第2回評価提言者会議

2月25日、2年任期の6名の提言者との最後の評価提言者会議を開催しました。

これまで議会活動に対するご提言をいただき、議会運営に反映させることができました。大変ありがとうございました。



評価提言者会議



委嘱状交付式

評価提言者が決定しました

南幌町議会基本条例に基き、議会だより2月号で募集した結果、募集の結果9名の評価提言者が決定しました。

任期は令和7年度・8年度の2年間で、4月7日に委嘱状の交付と懇談を行いました。

提言者は、丹藤修さん（西町）、大内孝行さん（15区）、加藤政一さん（中央）、大西良子さん（15区）、川上裕一さん（西町）、宮寄綾香さん（北町）、倉八重子さん（西町）、山根正子さん（西町）、明地直美さん（北町）の9名です。

Q 南幌町DX推進計画の進捗状況は

A 現段階では計画どおり進捗しています



録画映像



にしまた ひろし
西股裕司 議員

西股議員

昨年2月に策定した南幌町DX推進計画の進捗状況について、国ではデジタル庁の創設や自治体DX推進計画を通じて地方自治体へデジタル化の推進を求めています。

令和6年度より、新たに担当職員を配置し、南幌町デジタル推進計画の実現に向けて取り組んでいます。令和6年度の進捗状況は、

また、通信技術の利用できる人できない人との格差がどんどん広がるのが懸念される状況にあつて、南幌町DX推進計画を実行するために必要な人材の育成を町として考えてはいると思うが、専門的なことを進めて行く場合には、外部からの補助員を登用するとは考えられないのか。

町長

計画の推進にあたっては、課長級によるDX推進本部と、その下部に、各課のDXリーダーによる推進検討会議を設置し、計画の運用・検討・調査を行っております。本町において、現段階では計画どおり

進捗していますが、今後、特定の重点課題や高度なプロジェクト等で必要になった場合については、外部人材の登用を検討します。

※南幌町DX推進計画とは

国では、社会や環境の変化に対応するため、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化した「自治体デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画」(令和2年12月)を策定し、デジタル社会の構築に向けた取り組みをすべての自治体で着実に進めていくこととしています。

本町においても、国や社会情勢の変化、本町の現状を踏まえつつ、デジタル技術を活用し、更なる業務効率化や行政サービスの向上、持続可能なまちづくりを目指すために、「南幌町DX推進計画」を策定しました。



令和6年度策定の計画

Q あいるーとの利便性向上を検討しているのか

A 他自治体の事例など情報収集を行います

西股議員

本町の導入したシステムは、ドア・トゥー・ドアでの運行、当日予約もできることなど、他自治体のオンデマンド交通に比べると利便性の高いシステムです。

あいるーと運行以来、町民の足として大変喜ばれている一方で、要望も多岐にわたって増えている現状です。

今後、町民のニーズに添えるような他のシステム等や、他自治体の状況を調査し、更に利便性の向上に向けて、先進的な良い事例を取り入れるなど、検討してほしいが町長の考えは。

町長

本町が導入したシステムは、本町が実施するドア・トゥー・ドア型のオンデマンド交通の運行形態に、最

も適しているシステムであると考えています。先進的事例も出てきており、そのようなことを考えれば、次のステップに向けた情報収集をしていく必要があると考えています。



録画映像



あいるーとのA1配車システム

Q 町中心街の空洞化について



録画映像

A 小規模企業振興に関する条例制定に向けて検討します

湯本 町長
ゆもと かなめ

湯本議員

今、高齢化が進んで、町内活動をはじめとする地域コミュニティの維持が本当に難しい状況が生まれています。役員のなり手がない、行事をやってもなかなか参加が難しいなどの状況が生まれてきています。

中央商店街は相次ぐ閉店によって中心街の商店街も、住宅街も空き家が多く目立つようになりました。南幌の中心街の空洞化に歯止めをかけるため、小規模企業振興に関する条例の制定、これによる事業継承の促進や町内で働いている人で、町外在住の人に町内に住んでもらうための家賃助成など、これまでにない強い施策が必要と考えますが、町長の考えは。

町長

住宅地の空き家空き地対策は、中古住宅購入費助成事業や空き家空き地情報バンクによる情報提供を行っているほか、市街地の空き店舗対策として商店街空き店舗活用支援事業を実施しています。

また、町内会をはじめとする地域コミュニティにつ

いては、地域担当者制度で地域の主体的な活動が維持できるよう支援しています。

小規模企業振興に関する条例については、商工会からの要望や全道的に制定の動きが見られることから、条例制定に向けて検討します。

町外からの通勤者への町内居住に対する家賃助成については、空洞化、空き家対策として、現在の空き家空き地情報バンク制度の拡充を検討します。

なお、今年度より新たにふるさと就職金支給事業として、新規学卒就業者・Uターン者に祝金を支給し、若者の定住対策に取り組みます。



Q まちづくりの進め方について

A 総合計画に基づいて、町民の理解のもと進めています

湯本議員

まちづくりの進め方について質問します。議会には説明がありましたが、南幌温泉周辺の整備事業（キャンプ場）が進められようとしています。私はその事業そのものについて、多くの町民から批判の声を聞いておりますし、町民の多くはなぜ必要なのかをよく知らないまま、説明も不十分なまま、事業が進むことに対する不安を感じています。町民の多くが物価高に苦しんでいる中、この時期に進めるべき事業なのでしょうか。町の事業は、町民の理解と合意のもとに進められなければなりません。それが「まちづくり」の本旨と考えますが、町長の考えは。

町長

町の施策については、町民の理解と合意が必要で、その根幹となる「総合計画」の策定にあたっては、町民・企業を対象としたアンケート調査の結果やワークシヨップ、まちづくり地域懇談会、パブリック・コメントなどの意見を踏まえ、公共的団体や地域活動団体の関係者、公募した町民により構成する「総合計画策定審議会」に諮問し、答申をいただいたものです。

町の施策や課題に対する取組は、広報誌やホームページ、各団体の会合などで町民の皆さんに情報提供を行い、それを踏まえて議会と議論を重ね、町民の理解のもと進めています。



録画映像

政務調査報告

視察先：登別市議会 視察日：2月6日

視察内容：「議長による特別講話授業」の取組

視察議員：^{いえづかまさひと}家塚雅人、^{ほし ま き}星 真希、^{にしまたひろし}西股裕司、^{いしかわやすひろ}石川康弘

選挙の投票率低下や、議員のなり手不足問題などにおいて、「政治は難しい」という印象があるのでないかという課題を感じ、議会マニフェスト小会議において身近な議会の必要性の議論を重ねてきました。

登別市議会では、中学生を対象に本会議場の見学や、議場でどのような事が決まていくのかを、わかりやすく説明することで、「自分たちの暮らしと政治が実は身近な事である。」という声を聞くことができました。



～所 感～

若い世代と関わる事が議員としても刺激になるということ、多くの世代に政治を身近に感じてもらえるような活動の必要性を学びましたので、今後の取組に活かしていきたいと思いました。
(星)

研修先：TKP神田ビジネスセンター（東京都）

研修日：1月27日、28日

研修内容：地方議会議員政策セミナー

研修議員：^{ゆもと}湯本 要、^{かなめ}熊木恵子、^{くまきけいこ}佐藤妙子、^{さとうたえこ}細川美喜男、^{ほそかわみきお}高橋修平

2日間にわたり、東京都で開催された地方議会議員政策セミナーを受講しました。1日目は全体での講義、2日目はテーマごとに分科会形式での受講となりました。

(1日目)

- ・2025年度政府予算案と地方財政対策のポイント解説 講師 立命館大学教授 平岡 和久氏
- ・能登半島地震から1年(南海トラフ地震などの備え) 講師 神戸大学名誉教授 室崎 益輝氏

(2日目)

- ・自治体財政を身近なものに(湯本、高橋)・地域公共交通と新しい移動手段を考える(佐藤、細川)
- ・学校給食の無償化と有機農業・有機給食(熊木)

～所 感～

複雑な自治体財政の仕組みを理解することは大変です。住民が町の財政を少しでも身近に感じ、議会でも住民に見える形で議論が展開できれば、きっと町は変わると思いました。
(湯本)

南幌町議会

公約

マニフェスト

開かれた議会をめざして	改革項目	重点項目
	議会の見える化	○各委員会活動の透明化 ○会議に係る審議と結果に至る経過の見える化
	身近な議会活動	○議会報告懇談会開催内容の充実 ○懇談会開催の工夫 ○主権者教育の推進 ○議会評価提言者の活用
	情報発信の拡充	○議会ホームページの充実 ○町民にわかりやすい情報発信の取組 ○議会YouTubeのあり方

町議会では、残りの任期2年間で町民皆様に開かれた議会をめざして「南幌町議会マニフェスト」を制定しました。今後それぞれの改革項目及び重点項目に沿って、議会改革を進めていきます。

一部事務組合議会の動き

主な議事を掲載しています。

南空知消防組合（第1回定例会）

◆ 2月17日（出席議員 西股・細川・家塚）

○令和6年度 南空知消防組合会計補正予算（第4号）

○令和7年度 南空知消防組合会計予算

道央廃棄物処理組合（第1回定例会）

◆ 2月20日（出席議員 側瀬・熊木）

○令和6年度道央廃棄物処理組合一般会計補正予算（第1回）

○令和7年度道央廃棄物処理組合一般会計予算

南空知公衆衛生組合（第5回定例会）

◆ 2月21日（出席議員 星・熊木・細川）

○令和6年度南空知公衆衛生組合一般会計補正予算（第2号）

○令和7年度南空知公衆衛生組合一般会計予算

長幌上水道企業団（第6回定例会）

◆ 2月26日（出席議員 側瀬・

石川・佐藤・高橋・家塚）

○令和6年度長幌上水道企業団水道事業会計補正予算（第3号）

○令和7年度長幌上水道企業団水道事業会計予算

○議長辞職の件

○議長選挙、側瀬敏彦副議長が議長に当選

南空知葬斎組合（第5回定例会）

◆ 2月26日（出席議員 湯本・星・加藤）

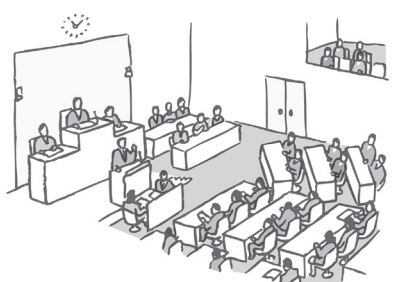
○令和6年度南空知葬斎組合一般会計補正予算

○令和7年度南空知葬斎組合一般会計予算

南空知ふるさと市町村圏組合（第1回定例会）

◆ 2月27日（出席議員 側瀬）

○令和7年度南空知ふるさと市町村圏組合一般会計予算



予算審査特別委員会

予算審査特別委員会を3月7日、10日、11日に開催し、審議の結果、令和7年度各会計予算案（一般会計・国民健康保険特別会計・病院事業会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・下水道事業会計）及び関連議案は賛成全員により「可決すべきもの」と決定し、本会議で報告しました。

総務費

●委員【町有財産管理事業】

公共施設のLED化について蛍光灯の製造は2027年末までとなるが、2年後までに公共施設のLED化は全て終えることができるのか。

総務課 2、3年以内に、公共施設全てをLEDに更新する方向で協議を進めています。

●委員【生活路線等交通対策事業】

あいるーとの町内イベント開催日の運行を新年度も予定しているのか。

まちづくり課 商工会ふれあいまつり、農協夜まつり、南幌盆踊り、秋の収穫祭、ボランティアフェスタ、冬まつりの開催日6回の運行を予定しています。

●委員【子ども室内遊戯施設管理経費】

はれっぱの利用料金は、近隣に比べて利用料金が高いと思うが、利用料の見直しの検討は。

まちづくり課 開業から3年経過する時点で、指定管

理事業者と協議し、利用料金の見直しについて検討します。

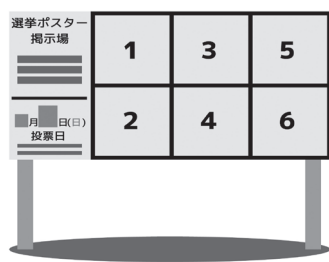
●委員【企業誘致推進事業】

令和7年度の販売戦略をどう考えているのか。

まちづくり課 北海道が主催する道外のイベントへの参加や企業信用調査会社帝国データバンクなどによる、企業リストアップ、000社を予定し、企業へのパンフレット等の送付によるPR活動や専門業界紙に広告宣伝などを予定しています。

●委員【参議院議員選挙事業】

選挙ポスターの掲示場の見直しと、投票率の向上のため選挙管理委員会での検討されているのか。



総務課

地域における人口や交通等の事情を考慮し、選挙管理委員会において投票区内設置場所の見直しを含め検討していきます。投票率の向上については、町民の関心を高め、投票意欲を喚起することが重要と考え、結果を分析し、投票率の向上に向けた対策を検討します。

民生費

●委員【保育所等運営補助事業】

待機児童はいないのか。保育所や幼稚園は対応できる状況なのか。

保健福祉課 現在、待機児童が出ている状況です。他自治体と連携し、1人でも多く受入れできるよう調整していきたいと考えています。

衛生費

●委員【母子保健事業】

妊婦のための支援給付金は、昨年までの出産子育て応援支援金との、変更点があるのか。

保健福祉課 出産子育て応援ギフトが、子ども子育て

支援法の改正により、妊婦のための支援給付になります。大きな変更点としては、死産、流産の方も、この胎児の数の5万円が該当することになりました。

●委員【母子保健事業】

先進医療不妊治療等助成について要望者数の把握はどのようにしているのか。また、周知方法は。

保健福祉課 妊娠届の際に面談し、不妊治療をした方に確認して把握しています。周知については、今後もホームページで情報を発信していきたいと考えています。



●委員【母子保健事業】

出産タクシー利用助成について研修を受けたドライバーが妊婦を乗せるという形をとっている町があるが、本町はどのように、対応するのか。

保健福祉課

研修を受けている江別市のハイヤー事業者が協力していただけます。町内の事業者は、研修は特に受けたことはないが、協力する旨の返事をいただいております。今後、町の専門職と出産時のトラブルや注意点を、説明したいと考えています。

●委員【成人保健事業】

各種検診で受診率の向上のために新たな取組があるか。

保健福祉課

若い世代や働き盛りの世代の受診率を上げることが大事です。受診しやすいように、集団検診受診券発送時に、オンライン予約の案内を行います。

●委員【ごみ処理対策事業】

新規のごみボックスの設置の予定はあるのか。

住民課

設置場所は、東町1丁目、東町2丁目、東町3丁目の3か所に設置します。

農林水産業費

●委員【農業振興経費】

町の農業振興計画の考え方は。
産業振興課 農業振興計画の

見直しについては、国で進めている食料・農業・農村基本計画と農協の第16期中期計画の内容を踏まえ、見直しを検討していきます。

●委員【ふれあい館管理経費】

夕張太ふれあい館の改修の計画はあるか。

総務課

平成20年度に屋上防水等外壁の改修を行っており、建築士に確認し、現時点で、大規模改修は予定しておりません。5年経過後ぐらいに状況を確認しながら、状況に応じて大規模改修を検討していきます。

商工費

●委員【観光振興経費】

デジタルサイネージの運用委託料の内容は。

産業振興課

データ通信料とサーバー接続費、サイネージ4台の維持管理費となっております。

土木費

●委員【公園管理施設事業】

中央公園内のステージを活用してのイベント開催は。

都市整備課

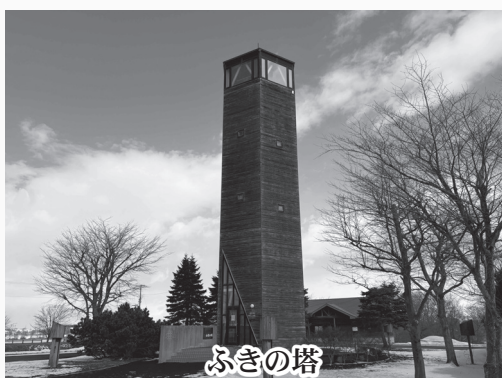
ステージ前面扉を改修予定で、イベント担当課とも開催に向けて協議をしていきます。

●委員【公園長寿命化改修事業】

ふきの塔改修実施設計業務の内容は。

都市整備課

解体に向けた実設計及び解体後の跡地利用で、休憩施設や遊具施設等も検討予定です。



ふきの塔

●委員【住宅リフォーム助成事業】

材料費が高騰しているが、予算額を少し引き上げるなどの検討は。

都市整備課

令和6年度は申請されたものは全て交付されていることからニーズには対応できていると考えています。

教育費

●委員【公設学習塾事業】

これまでの成果等を分析し、どのような検討や改善を行うのか。

生涯学習課

アンケート調査の結果を基に事業内容等を検討し、多くの生徒に参加してもらえよう進めたいと考えます。

●委員【小学校改修事業】

改修事業の内容は。

生涯学習課

暖房ボイラーの更新、音楽室冷暖房設備の更新、体育館暖房設備の更新、受変電設備更新等を予定しています。

●委員【社会教育施設管理経費】

スポーツセンター等の指定管理における職員の配置は。

生涯学習課

総括責任者1名、副責任者2名を配置し必ず1名は常駐、スポーツ指導員は町から派遣します。

下水道事業会計

●委員 下水道管の老朽化等の把握方法は。

都市整備課

エリアを決めて目視点検やカメラ調査を毎年実施し、適正な管理に努めています。

病院事業特別会計

●委員 キャッシュレス決済の導入時期は。

町立病院

早ければ5月から6月頃を予定しています。

●委員 外来難聴者に対する対応は。

町立病院

主に筆談よりまずが、軟骨伝導イヤホンの導入も検討します。

●委員 外来の受診に予約制を導入してはどうか。

町立病院

医師4人体制になった段階で検討します。

Follow-up ～追跡調査～ あの質問どうなった！？

～带状疱疹ワクチン接種費用の半分以上を町が助成します～

令和5年第3回定例会の一般質問で、带状疱疹ワクチンの接種費用助成について提案しました。

町長は、現時点では、予防接種法に基づいた定期接種化を国に求めるべきと考えるので助成する考えはないとの回答でしたが、令和7年度からの定期接種化に合わせて、50歳以上の町民を対象にワクチン接種を希望される方へ費用の2分の1を助成することとしました。

国の带状疱疹ワクチン接種への助成は、65歳以上の方を5歳刻みで対象とする定期接種に対してですが、本町の制度は、町独自の取組として、50歳以上の町民全員を対象に接種を希望される方への助成です。(細川)

【带状疱疹ワクチン接種の予防効果】

組換えワクチン2回接種で約10年、生ワクチン1回接種で約5年の予防効果があると言われています。带状疱疹ワクチン接種にあたっては、他の予防接種と同じように副反応が見られることがあります。持病等がある方は、医師に相談してから接種しましょう。

議員としゃべり場

3月26日、保健福祉総合センターあいくるで第3回議員としゃべり場を開催し、延べ7名のご参加をいただきました。

この取組は「住民の声が直接届き、気軽に議員と懇談することで、より議会を身近に感じていただくことを目的」に年4回ある議会定例会終了後に開催していきますので、今後たくさんのご参加をお待ちしております。

※定例会は3月、6月、9月、12月の年4回です。

次のしゃべり場は6月の第2回定例会終了後に予定しています。詳細が決まり次第、町広報誌等でお知らせします。

議会懇談会

南幌町議会では、町内の5名以上の小グループや各種団体等と地域における諸問題や議会活動、町政に対する意見等を議員が直接伺う「議会懇談会」を行っています。

随時受付を行っていますので、ぜひ、お申し込みください。

【お問合せ】議会事務局 ☎ 398-7250

YouTube チャンネル

南幌町議会では、本会議の様子をYouTubeチャンネルに公表しています。

本会議後1週間から2週間をめどにアップロードしていますので、日頃、議場に足を運ぶことができない方も本会議の様子をご覧ください。

QRコードからご覧になれます。

【お問合せ】議会事務局 ☎ 398-7250



なんぽろ議会だより

令和7年5月1日 第170号

〒069-0292

空知郡南幌町栄町3丁目2番1号

TEL 011-398-7250

発行／南幌町議会

編集／議会広報特別委員会

委員長 細川美喜男

副委員長 佐藤妙子

委員 湯本要・星真希
高橋修平・家塚雅人

印刷／山東印刷(株)

新年度がスタートして、早くも1か月が経ちました。道央圏連絡道路「中樹林道路」の開通や、南幌流通団地の分譲予約受付の開始など、新たな事業がスタートしています。議会では、急速に進展しているデジタル化に伴い、ペーパーレスなど議会改革を進めています。物価高騰による住民生活の影響も気になるところですが、今後も笑顔あふれる子どもたちの未来を思い浮かべながら、より親しみやすい議会だよりを編集していきます。(佐藤)

編集後記